

■エリアミーティング文書開催

今年度対象エリアは多摩辺中学校区・福島中学校区・清泉中学校区となります。質問及び回答の一部を掲載します。

【多摩辺中学校区】

【質問】多摩川遊歩道サイクリングロードの安全対策及び道路環境整備の進捗について

国土交通省との会合の中で対策を引き続きお願いします。(森ノ上町会)
 【回答】堤防上の通行の安全対策につきましては、「多発する自転車と歩行者との接触事故等を鑑み、遊歩道安全確保の観点からも遊歩道の幅員の拡幅及び自転車走行ルールの策定支援」を国土交通省に要請しております。

国土交通省といたしましては、昨年来の激甚災害対策に尽力しているとのことですが、今後も引き続き様々な機会を捉えて安全対策及び遊歩道環境整備について要請してまいります。



白井市長へ
高幡副会長から
質問項目を提出

【福島中学校区】

【質問】ブロック塀の点検について
 背の高い塀に内側から重量物が塀より高く積みあがって倒壊の危険がある。他にも狭い道に古い塀があり点検が必要と思われる。住民間での申し入れは地域の関係性を壊す可能性があり行政で確認及び指導をお願いしたい。

一時期塀の建て替えが進められており補助金の制度があったと思うが現在もあるのか？通学路を優先に再度点検が必要と思われる。(五月自治会)
 【回答】危険な塀につきましては、東京都多摩建築指導事務所において通報により確認・指導を行っておりますので、市からも適宜情報を提供してまいります。

次に、生け垣の造成を目的とした既存のブロック塀の撤去に対する補助金制度(ブロック塀1m当たり6,000円以内、限度額12万円)がございますが、本補助金制度につきましては、令和2年度中(令和3年3月31日まで)の実施は決定しておりますが、令和3年度以降の実施につきましては、現時点では未定となっておりますので、ご注意ください。

なお、通学路は、小学校、PTA等が主体となり、定期的に点検等を実施しておりますが、そうした箇所の塀の建替えにあたっての補助制度につきましては、現在検討を行っております。

【清泉中学校区】

【質問】街灯ルールについての地域の課題・問題点
 市内の市道の街灯は新旧灯が混在で設置されている。前回の回答で市は予算内で改善につとめていると言うが2年間でどの位改善されているかお聞きたい。

また今後の具体的な改善方法、時期、改善完了見通しを教えてください。
対策や提案内容 予算が厳しい中で、街灯の新設や保守もあるので、中々改善に向ける費用が捻出出来てないのではと思う。是非、今後の具体的な進め方を教えてください。改善費用、改善地域、改善時期等の見通しが知りたい。(朝日町住宅自治会・六親自治会)

【回答】街路灯のLED化につきましては、高圧水銀ランプの製造が令和2年12月31日より中止となることから、令和元年度から4年度にかけて水銀灯を先行してLED化を進めております。その結果、平成29年度末と比較して令和元年度末の街路灯LED化率は16.6%(1,376基)から35.3%(3,026基)となっております。今後の予定としては令和4年度末までに、残る水銀灯(642基)のLED化をはじめ、その他の街路灯(蛍光灯4,570基)についても器具本体が故障したのからLED器具に交換しているほか、電球交換サイクルが短くなった器具や、設置年度の古いものから順番に不点灯となった際に状況を見ながら、予算の範囲内でLED化を進めてまいります。

なお、蛍光灯4,570基のLED化費用につきましては概算で約7,540万円程度の改修費用が必要と考えております。

エリアミーティングの質問及び回答は自治連ホームページに掲載予定です。来年度は昭和中学校区・瑞雲中学校区・拝島中学校区を予定しています。

【質問】台風等水害による堤防決壊に備えて
 「昭和堰上流900m地点が決壊する恐れがある」と国交省の話がありました。早くその地点の対策をお願いします。また、今後の計画を教えてください。(森ノ上町会)

【回答】多摩川左岸48.0k地点(昭和用水堰上流)は昭島市に氾濫被害を発生させる箇所のうち最も早く氾濫する恐れのある箇所として選定されています。(令和2年度直轄河川重要水防箇所調査(国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所)より)

昭和用水堰上流の直近の整備状況については、河川管理者である国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所が令和元年7月から令和2年2月にかけて、河道内伐採を実施しております。今後においても、定期的な河川整備を実施していただくよう、市は国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所へ要望しております。

【質問】コロナウイルス感染症の拡大について

PCR検査受診料の市による無償化をお願いしたい。(東町第五自治会)
 【回答】発熱などの症状があり、医学的にPCR検査が必要な場合と濃厚接触者など、保健所がPCR検査の実施を必要と認めた場合は、検査費用は公費で負担され、無料で受検することができます。これら以外のケースでPCR検査を受検する場合は、公費の負担がなく、全額自費で行う必要があります。

本市としては、全くの無症状・無関係な人に検査を実施するよりも、一定の症状がある人や感染した可能性のある人を優先して検査することが、検査能力の有効活用につながり、合理的であること、また、無症状や無関係な人の検査を公費負担の対象とするには、財政面で非常に大きな課題があることなどから、現状では、無条件で公費負担の範囲を広げることは考えておりません。

今後につきましては、新型コロナウイルスの感染状況などを注視し、濃厚接触者の範囲の拡大や、感染が起ると被害が大きくなる施設などでの臨時的な対応について、本市としてどのような取組が可能となるのか検討を進めてまいります。



早川副市長へ
横山副会長から
質問項目を提出

【質問】災害時避難支援者リストについて

自治会会員ではない方々が災害時避難支援者リストにあがっていますが、日頃が付き合いがないのに災害時には支援を…というのはなかなか厳しい状況です。せめて自治会加入を促して頂けるしくみを考えて欲しいです。また、この件について現状を教えてください。(中神駅前親交自治会)

【回答】避難行動要支援者名簿の活用は、災害対策の取組であり、全市民を対象とするものです。自治会会員のみを対象としたり、自治会への加入を促すような取組を行うことは、制度上困難性がありますので、ご理解をお願いします。

なお、この現状ですが、令和2年3月31日現在の名簿登録者は3,686名、うち名簿の事前配付に同意していただけた方は2,791名です。また、避難支援等関係者として名簿の事前配付を受けている自治会は現時点で23自治会となっております。



山下教育長へ
宮崎副会長から
質問項目を提出

■発行・編集
昭島市自治会連合会 (TEL:042-544-4132 昭島市役所 生活コミュニティ課内)

■自治会連合会のホームページ
http://www.akishima-jichiren.jp/



あきしま市 自治連会報

■発行者
中島 岩雄
 ■編集
昭島市自治会連合会
総務企画委員会
昭島市田中町1-17-1
昭島市役所
生活コミュニティ課内
TEL 042-544-4132

1.1
令和3年
(2021年)

会長挨拶

昭島市自治会連合会
会長 中島 岩雄



明けましておめでとうございます。年頭にあたり会員皆様の健やかな一年をお祈り申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染拡大の為に延期になった“東京2020オリンピック・パラリンピック”が今年に開催を予定されています。この折、盛り上がり欠ける状況ですが、TVやネットで応援して自分自身も元気をもらいましょう。

去年は風水害、地震の被害は少なかったものの、新型コロナウイルス感染災害には本当に困りました。「人が集まてはいけない」「飲食してはいけない」「外出してはいけない」と自治会活動の根幹になる部分が規制されてしまったからです。しかし、このことにより、人のつながりや共助の大切さが痛切に実感できた一年であったと思います。

つながる事で、助け合う事で人は生き生きと暮らせる。これを支援、実践していくのが自治会と自治連だと思っています。

今年も新たな気持ちでコロナに負けず、皆様の為に頑張ります。活動へご理解、ご協力、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

年頭のご挨拶

昭島市長 白井 伸介



新年あけましておめでとうございます。

令和3年を迎えまして、すがすがしいお正月をお過ごしのことと心からお喜び申し上げますとともに、日頃より市政に対しまして特段のご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

人口減少、少子・高齢化社会が進み、社会を取り巻く環境は大きく様変わりをしています。また、昨年来の新型コロナウイルス感染症への対応、一段と脅威を増す自然災害への備えなど課題は山積しておりますが、住みよいまちづくりには、行政のみならず、地域の力が必要不可欠です。

自治会連合会の皆様方におかれましては、引き続き地域を繋ぐ大きな要として、快適で笑顔があふれ、多様性と意外性に富んだ「楽しいまち昭島」のまちづくりの実現のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

自治会・自治連の年間事業概要

詳しくは所属の自治会にお問い合わせください。

事業名	概略内容	時期
スポーツ大会	ブロック別スポーツ大会	2月(今年度は中止)
祭り、フェスティバル	夏季に出店や神輿・山車巡行・盆おどりなどの催し	7月～9月
ブロック別運動会	複数の自治会が集まり地域で秋季運動会を開催	10月～11月
餅つき、芋煮会	正月の前後で冬らしい催し	11月～翌2月
まちかど防災訓練	自治会やブロックで消防署の協力を得て防災訓練を行い、防災意識を啓蒙	6月～翌2月
地域の防犯・防火パトロール	安全安心の地域を継続するために警察、消防と協力しパトロールを実施	夏季、冬季
エリア別ミーティング	地域の問題や課題を行政と話し合い、対応を検討	10月～11月
募金協力	社協会員増強、赤い羽根、歳末助け合い運動に協力	5、10、12月
研修会	会長、自治会役員を対象として講習会やワークショップを実施	6月、12月
加入促進	イベントや集会で自治会への加入を呼びかけ	通年
情報発信	会報、だより、チラシ、ホームページで行事予定や実施結果などを展開	通年

自治連活動報告

■加入促進委員会

例年、加入促進活動は、くじら祭、夏まつり、運動会等の地域活動を利用して展開していますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大によって多くのイベントが中止となったことから、今年は、次につなげるために以下の資料を制作しました。

・のぼり旗の作成

市制作の自治会応援の垂れ幕、それに合わせのぼり旗を作成しました。希望ブロックへ支給しました。



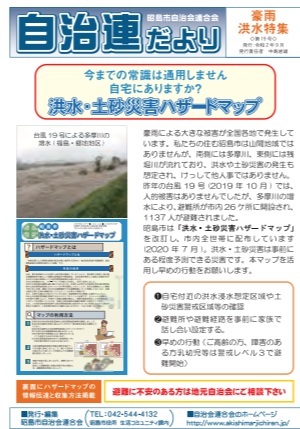
・今年はカラー化“協力店一覧 第7版”の作成

皆様“ごきんじょのお店”のご利用をお願いします。



■地域防災委員会の活動

今年度の地域防災委員会は、以下の3つを重点項目としてスタートしました。①発災時の初期対応訓練。②学校別避難所運営委員会の組織確立と訓練の実施。③風水害の対応検討。このうち③については、2019年10月の台風19号対応の問題点等が、前年度の当委員会で整理され、市防災課にも連絡済みです。また「洪水・土砂災害ハザードマップ」が全面改訂され2020年7月市内全世帯に配布されました。当防災委員会では改訂されたハザードマップの周知と、情報の収集方法等を掲載した自治連だよりを「豪雨・洪水特集」号として発行しました(2020年9月)。②については避難所開設訓練を各学校毎に行い、コロナ禍での受付体制確認等を自治会や地域の役員を中心に推進中です。①についてはコロナの感染状況を見ながら今後、展開していく予定です。



■総務企画委員会

今年度はコロナ禍での活動となり例年開催している自治会役員研修会を文書開催といたしました。本来であれば、地震の科学館やりっくランドでの研修を計画していました。コロナが落ち着いた暁には、是非とも皆様と一緒に見学をしにいきましょう。

また、『屋外掲示板』新設・取替の準備を進めています。令和3年度の工事予定は12ヶ所です。現在令和4年度に向けて準備をしています。各自治会で、良く協議していただき申請書を提出していただければと思います。(補助金事業の為に希望に添えない場合もあります)

自治連ホームページをリニューアル作業中です。トップページデザインの刷新とリンクの整理。投稿サイトにつきましては、自治連、ブロック、自治会の3階層になります。そして、スマートフォンにも対応となります。運用開始は4月頃を予定しています。

■昭島消防署から[救急業務協力に対する]感謝状を受けました

自治連のブロック長は昭島消防署が主管する「昭島防火防災協会防災指導部会」の委員として活動しています。

防災指導部会では毎年、春秋の火災予防週間の情報展開、各自治会で実施される防災訓練の内容検討、住宅火災警報器の設置推進、救急救命講習受講促進などを議論し展開しています。

永年にわたる上記の活動が評価されて、昭島消防署長から昭島市自治会連合会が感謝状を戴きました。コロナ禍で大勢が集まる式典は出来ませんでした。9月7日に感謝状を受け取りました。



コロナ禍での自治会活動報告

■防災訓練の実施

自治連15,17,19,20ブロックでは瑞雲中学校と合同の防災訓練を行っています。第17ブロック(つつじが丘東、西自治会)では、8回目となる今年は新型コロナウイルス感染症、感染防止対策として「3密」を避けた在宅避難と役員、中学生による安否確認のみの訓練としました。

訓練後公園広場で第17ブロック在住の生徒への防災講話と駐在さんから東日本大震災時の派遣時の経験話を頂きました。

東自治会では「自助」を充実させることで、全体の防災・減災につなげる、住民の方に準備して頂きたい項目を掲げ「アンケート形式」で実態を確認しました。



各戸の安否確認



本部への報告



公園での防災講話

■地域の安全推進活動

自治連第1ブロックは市内東端で立川市と隣接し、南北方向では、西立川駅～多摩川までの地域、駅前にはマンションが建ち並び、多摩川に近くなるにつれ戸建て住宅が多くなります。最近では新築の建売が増加して若い人達も増えています。

新型コロナ禍で祭礼、運動会、防災訓練が従来通り出来なくなり、今年は少人数でも実施できる地域の安全、安心確保の活動を重点に取り組む事にしました。

活動例として

- ①各自治会内の夜間防犯パトロール実施
- ②小学生の登校時見守り活動
- ③地域の防犯意識向上の為に防犯講話会開催
- ④青パト車による地域パトロール実施(今年から開始)

そして、行事・事業の活動広報に力を入れています。まず、メインの広報誌「かわらばん」その他にも(防災知っ手帖・防犯部ニュース・交通部ニュース)を定期的に発行しています。これらは第1ブロックのホームページからも見れます



- ・かわらばん：事業報告、地域の出来事や歴史、今後の予定
- ・防災知っ手帖：大地震や風水害に対する防災対策知識の向上
- ・防犯部ニュース：特殊詐欺、侵入盗の発生状況と住民への注意喚起
- ・交通部ニュース：交通事故災害、地元の危険箇所紹介と住民への注意喚起

■新型コロナウイルス感染拡大に伴う苦情・要望等アンケート実施

自治連第15ブロックは新型コロナの流行により、運動会や夏祭りなどの行事が次々と休止となり自治会会員で集まり活動する機会が減る中、コロナ禍で発生している問題や自治体への要望などを共有するためアンケートを8月に実施しました。自治会長から自治会会員の約9%にあたる150名へ依頼、107名から提出がありました。「市としてどのような対応をしているのか」、「感染したときにどのように行動したらよいかの情報が伝わってこない」、「高齢者のためにもホームページだけでなくチラシなどで丁寧に広報してほしい」といった内容が寄せられました。アンケート提出者には回答内容の要約、中神北口商店会の商品券千円分とパンフレットを贈りました。商店会でお店の特徴や写真が載ったパンフレットを作成いただいたおかげでお店を探しやすくなりました。このコロナ禍で厳しい状況が続いていると思いますので、商品券を使う際にお店の方に激励の言葉をかけて頂くようお願いいたしました。コロナが終息して地域がにぎわいを取り戻し全員が笑顔で過ごせる日がきっと来ます。皆さんで協力してこの難局を乗り越えましょう。

アンケート結果(苦情・要望について)

